

総合教育会議 会議録

1 会議名	平成29年度 第2回 総合教育会議 (通算 6回目)
2 日時	平成29年11月13日(月) 午後4時00分 ~ 午後5時11分
3 場所	五ヶ瀬町役場応接室
4 出席者	首長側 : 町長 原田 俊平 教育委員会側 : 教育長 猪野 貴一 教育長職務代理者 石井 勇 教育委員 寺本 俊文 教育委員 興梠 浩幸 教育委員 松本 貴子 説明者等 : 総務課長 小迫 幸弘 行政グループ長 北島 隆二 教育次長 武内 秀元
5 進行	総務課長 小迫 幸弘
6 書記	行政グループ長 北島 隆二 教育次長 武内 秀元
7 協議	(1) 鞍岡中学校跡地利用の方向性について ※ 非公開とする。
8 凡例	Q…Question (質問), A…Answer (回答) O…Opinion (意見) E…Explanation (説明)

開会時刻 午後4時00分

町長あいさつ

改めて、お疲れ様です。

今日は、第2回目の五ヶ瀬町総合教育会議ということで、教育委員会で段取りいただいたところでございます。主要な議題については、鞍岡中学校跡地利用の方向性ということでございます。

また、今日は、GDP、五ヶ瀬デザインプロジェクトの五ヶ瀬中学校の3年生の色々な地域づくりの提案をそれぞれに頂いたところでございます。その中で今回は、教育委員会教育長、特に思いがあって、是非、優秀な提案については表彰をしたいということで役場内で課長さん方で内容をしっかり吟味して、5名の3年生に町長賞、副町長賞、教育長賞、課長会賞ということで、5つの表彰をさせていただきました。非常にそれぞれ、我々が中学校時代のレベルとは考えが違うというのを痛感させていただいて、それぞれに思いを伝えさせていただいたところでございます。

また、先日は、中等教育学校のグローバルシンポジウムが開催されて、案内があったところですが、どうしても行けなくて、ビデオメッセージを送らせていただきましたが、それも非常にやはり五ヶ瀬中学校と中等教育学校が連携しながら、課題を子ども目線で研究するという素晴らしい教育が本町で実践をされておると痛感しており

ます。これが進展して、子ども達の、町内の学校の相互の交流、また合わせて今度はPTA、保護者の交流も進んで行くと、更に違った視点での施策が生まれて来るのかなと思っているところです。そういったところも今後は、町の教育委員会、また県教委も含めてお話しをさせて貰おうかなと思っているところでございます。

そういうことで、今日は、宮日に県内の老年人口ということで65歳以上の全市町村の状況がマスコミ発表されておりました。本町はやはり、当然、高齢化が進んでいますが、他の自治体に比べると、年少人口、0歳から14歳の子ども達が結構多いというのが、一番のこれからの強みかなと思っております。そういうところを含めて、今後は教育委員会の役割が更に大きいのではないかと痛感しているところでございます。今後も教育委員会、行政一体となって子ども達の学力向上、また色々なスポーツ支援、それから東京等修学旅行の個々の人格の形成を含めて、一緒に取り組んで行けたらと思っておりますので、どうか宜しく申し上げます。簡単ですが開会にあたってのあいさつに代えさせていただきます。

(ここから町長が進行を務める。)

### 【3. 協議】

#### 1 鞍岡中学校跡地利用の方向性について ※ 非公開とする。

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

##### 説明事項

これについては、定例教育委員会でその都度、報告している。「鞍岡中学校跡地利用を考える会」から鞍岡小学校を鞍岡中学校に移転して欲しいという署名が提出され、それを受け7月から10月まで4回の意見交換を行った。10月31日に、4回の意見交換会で出された意見をまとめたものを報告書として提出した。

町長の考えがあれば、それを受けて意見交換したい。

##### 質疑、意見等

E1 【町長】旧鞍岡中学校跡地利用に係る署名簿が提出された。鞍岡中学校跡地利用を考える会という形で、有志の方から鞍岡地区の署名簿、それから意見書を含めていただいた。内容的には、鞍岡中学校跡地に鞍岡小学校を移転すべきではないかという趣旨の意見であった。それを受けて、それ以前に五ヶ瀬町の議会の一般質問で秋岡議員等から当初、跡地についての町長の考えは？というのが昨年の9月議会に第1回目の質問が出されて、用途が学校教育施設から目的が変わってるというのもあったが、私の方で複合施設、自治公民館機能を併用する複合施設という利用が好ましいと考えると答弁した。当然、教育委員会とは中身を詰めつつ答弁したが、町長部局、それから教育委員会部局も同じ考えという趣旨で答弁した。その後も数回、そういった内

容の質問が出たが同様の答弁で対応している。今回、新たに鞍岡中学校跡地利用を考える会からの署名簿を含めた意見書が出たので、これはやはり町民の鞍岡地区のある程度の割合、60ないし70パーセントの住民がそういう考えを持っているという内容の署名簿であったので、それは真摯に受け止めるということで対応して、その考える会の皆さんの意見は、私自身も第1回目で聞かせていただいた。重々、気持ちは理解できるということで、再度教育委員会の考えも当然、重要な部分もあるので、再度教育委員会の方に投げ返させていただくということで、4回の教育委員会としての意見交換を行った。そういった中で、これはかなり中身が濃いもので、先日、分厚い報告書をいただいた。報告書の中の具体的なところを見ているが、考える会から出された意見は詳しく載っているの、それを再度確認している。ただ、その後、鞍岡小学校の現在の利用状況、子ども達の雰囲気、それから教育環境の有り方含めてしっかり、管理職も同行して、給食も子ども達と一緒に食べ、今の鞍岡小学校の現状も把握したつもりである。特に私が判断するところでは、素晴らしい教育が実践されているということ、また、過去に耐震化補強もしっかりやって大規模改修もやれて、非常に明るい教室であるということ等確認した。4回の教育委員会の話し合いを含めて、今度は私もその議論に入って行く事になるが、まずこういった形で行くのかというのは、教育委員会の皆さんの優先すべき意見を拝聴して、次なるステップに移ろうと思っている。ただ、現状では先ほど言った通り、今の鞍岡小学校で非常に充実した教育が実践されているということもあるし、旧鞍岡中学校の跡地が果たして小学校の利用に適しているのかというのは、一抹の疑問も抱えている。あくまでも町民との話し合いなので、しっかり段取り追って話して行かないと、非常に根の張る、根が残る議論になる部分があるので、この問題は慎重に対応して行こうと考えている。ある教育委員の方からの意見が出たということを知っているが、署名簿に書かれた方が全て理解して印鑑を押されているというのではないような気がするの、再度、12月議会が1日から8日まであるが、その中でこういった一般質問等の議論があるか分からないが、年を明けて地区座談会に入って行くべきなのかと考えている。実は、私自身も今年の6月に次期町長選の表明をさせていただいているので、そういった鞍岡地区の議論がその辺に飛び火して色々な複雑な問題が起こるのも町行政推進上、良くないと考えているので、しっかりした議論はして行こうということで鞍岡地区の座談会等で地域住民の人達の声を、我々の思いを伝えながら聞いて行こうと思っている。そういったところで、現段階では議会等通じて一般質問で答弁をした自治公民館機能を備えた複合施設の利用が好ましいのではないのかという議論はしているが、具体的に、ではどんな施設が考えられるかというのは、町行政内部では議論が不十分で、なかなか一方では小学校移転の議論があっている、一方では跡地利用の複合施設の利用を検討するのは、非常にやり辛いところがある。そういうところで過去の材料を出し

て良いのかというのを座談会で一つひとつ洗い出して話しながら、議論して行くべきなのかと思っている。そういうことで、平成30年度の予算に跡地利用の予算を確保して次なるステップを踏みたいところだが、そういう状況も踏まえて、当面様子見が続くのかなと思っている。ただ、いつもでも放っておく訳にはいけないので、しっかりした議論を経たのち、ある程度明確な判断を提示し、次なるステップに移って行くというところだと考えている。現状、私の個人的な考えは、そういう思いで進めたいと考えている。

E2 【町長】なかなか結論みたいなことは出てこないが、教育委員の皆さんも交代されたところもあるので、確認とか、聞いてみたいことがあれば出していただいて、教育委員会での議論ももう少し深く進めて行くということも大事かなと思っている。

E3 【教育長】町長が仰ったように、町長も議場で答弁をされ、その考えであるというふうにこちらも捉えているということがまず一点あるし、昨年度に開いた教育委員会においても移転をするという方向では、まず、なかったということであったが、再度、話し合いをしたところ、やはり、移転する大きな理由が見つからないということ、それと同時に移転をすることで、子どもや教師、保護者への負担もあるのではないかというようなことが話し合いの中で出てきている。教育委員会としては、児童数減に歯止めをかけたいと、やはり統廃合等について、統廃合を進めたいと思っていないので、そのためには鞍岡中学校に鞍岡小学校を移転することが児童数増に繋がるという考えはないので、移転については推進することは出来ないというような話し合いをしてきている。鞍岡地区のことも考えると、地域づくりの拠点として鞍岡中学校を使った方が良いのではないかと思っている。それぞれに要望があった皆さん方には話しをして来たところである。

O1 【石井委員】今回については、署名が出てきて、ヒアリング対象が「鞍岡中学校跡地利用を考える会」とだけである。事務局でヒアリングをしたものが教育委員会に入ってきて、そこで話しを聞く、だから答申するにしても跡地利用を考える会の考え方だけしか自分たちは聞いていないし、多分この報告もそうだろうと思うが、イメージ的にそれ以上、自分達がこの教育委員として言えるのかどうか。個人的には、まだもう少しみんなで考えていく場を作ってあげた方が良く思っている。それは多分、教育委員会のところではない。今後の鞍岡を考えて行くというのを前提に、この施設を活用していく、移転するにしても、しないにしても、まずは鞍岡を長期的に残して行くとか、学校を残すとか、生徒を増やして行くとか、そういったことを考えて行きながら、どの施設が良いのか。例えば、移転しようと思えば、移転しまいと先生達にそんなに影響はないと思う。良いとか悪いとかいう判断ではないので、出来る

だけ地域の大枠の話しを聞いて、その中でどこかが判断して行かなければいけないと思う。

E 4 【町長】それと、役場庁舎、町民センターの耐震診断結果が厳しい。そういうことで、耐震補強もやらざるを得ないという、若しくは仮に役場庁舎が非常に厳しいという結果が出たので、新たな施設を造らざるを得ないというのも視野に入って悩ましい状況を抱えながら動いている。そうなると、鞍岡中学校跡地を小学校用に更に改修して行くというのは、状況では財政状況はないと思うというのが必然的に出て来ている状況である。ただ、これを前面に出す訳にはいかないの、裏ではそういう背景も差し迫って出て来ているというのもあるので、そういうところも私としては考えて行かないといけない課題が出て来ているので、そういうところも十分理解をしてもらわなければいけないし、そうところも含めて、先ほど石井委員からあったとおり、もう少し時間をかけて議論した方が良いかと考えている。

Q 1 - 1 【寺本委員】去年の10月からちょうど1年になるが、殆どこのことで1年が経ったような気がしている。町長の判断を議会でされて、その後こういう署名が出て、後だしジャンケンのようなイメージがあるが、町長が判断した後に、庁舎内でそういった施設にして行こうという受入口みたいなのが出来ているのか。

A 1 - 1 【町長】まだ出来ていない。出来ようとしていたところに、これが出たので、そういう議論する一方では、移転しなければいけないのではないかというのも当然、個人の意見だからあると思うが、その中でなかなか、その意見を無視してというは、やり辛いというのもあって、今止まっている。

Q 1 - 2 【寺本委員】例えば、そういったものが出来て、鞍岡の集落の方達でも、それを慎重に話して行く雰囲気が出来てきたと思う。意見の中に林業振興とか教育委員会では判断出来ないような意見が出て来ているので、多くの人たちを巻き込んだ話し合う場が必要であると思う。そこで、こうしようという判断があった方が進め易い。教育委員会で判断することではないと思う。

E 5 【教育長】教育の部分で言えば、子ども達を中心に置いて、教育委員会なのでこのことは議論すべきであるが、なかなかその部分が出来ないということがあるので、町長が座談会という考えを持っていただいたのは有難いが、それもあるが、その前段階として組織を作って、鞍岡跡地を考えると、学校をどうするかというような大きな、みんなで話し合う場を作って行くというのも良いのではないか。そうすると賛成派、反対派、またそれ以外色々な考えの方々も入って来るような形が必要かなと考える。その一つに学校というのも入ってくる。

E6 【町長】 地域の方々も入ったような協議会を作って、色々跡地利用について、言い争いをする訳ではなくて、前向きな議論としてやるのは良い事で、前日、小川下川集落のふれあいトークをやって全世帯来られたが、その中でも林業に関する研究施設とかいう話しも出て、ちょうどその前に美郷町の林業センターに行っていたので、そんな話もしながら、話し合いをしたが、話し合いをすると、直にこうやって話しをすればいいと思いが伝わる。だからこういう話し合いはしなければいけないと思う。ただ、大勢で、例えば鞍岡地区全体で話し合いをすると意見も出ないし、遠慮して言いたいことも言われない。我々も言ったらいけないと思って言えないというのもあるので、ある程度まとまった所で、こういう意見交換して行く方が実のある話し合いにあると思う。役場内だけでそういう跡地利用の検討会をつくると、どうしても違う、一般質問で答弁したようなことを先行して行く部分もあるので、もう少し地域の人達で議論をする場の方が良いのかなと思っているが、まだそこまで至っていない。まずは跡地利用についても、複合施設とはどういうものがあるのかというのを知恵出しする場はあると思う。武内次長の方が跡地利用を検討する段階から色んな検討会、地域の人達の公民館長さん、議会の人達とか入って、色んな提案をいただいた部分があるし、女性陣からも色んな提案をいただいているので、まだそれは考える会には提示していないということであるが、そこ辺も踏まえて座談会的な部分はして行った方が良いのかなと思っている。先週、10区の体育祭が鞍中跡地のグラウンドで開催されたが、今年で50回目という大会であったので、日曜日で私も秋岡議員から来て見た方が良く、挨拶もと言われ、急ぎよ前の日決めて行ったが、非常に盛り上がりがある体育祭で、お年寄りも殆ど出られていた。やっぱり考える会のメンバーもいたが、これが地域づくりですよという話しをさせて貰ったが、そういうところも踏まえれば、ああいう一体的な活動はやられている訳なので、地域に入って話せば、どこかで理解は貰えるという気がしている。ただ、議会も考える会の中に秋本良一議員、白瀧徹哉議員、9名の議員のうち2名の議員が入られている。それはそれで良いが、議会内部でもちょっと議論していかないと、当然お金もかかる話しもであるので、子ども達を移転させるにしても学校施設という教育委員会だけではなくて、議会でも議論していく場になってくるので、どの時点で議会の方にも、私の思いが決まれば、これについてどう思いますかということ投げ掛ける必要があるのかなと思っている。急に結論を出すのは、さっき言った諸事情もあるし、まずはもう少し議論を深めた方が良いのかなと思っている。あとは、協議会、さっき出た色んな跡地利用の複合施設を含めた、こんな利用があるよねというよなみんな議論する検討会も、こういう形が良いのではというのがあればご教示いただきたい。役場内だけでやるとどうなのかなという気もしてくる。企画の課長に事務局長を持ってもらって、メインは担当課の課長が議論する場であ

り、各課長が集まって跡地利用を議論する組織が良いのか、もっと違う組織で議論した方が良いのか、まだイメージが出来ていない。

○2 【石井委員】関わる方が多い方が今後の協力とかも受けられるというのがあって、関わり方がもうちょっと少ないのではないかと思うから、そういった協議会で議論した方が良いと思う。それから、もう一つ、協議会のところで大きな問題として、あまり前面に出て来ていないけれども、鞍岡地区公民館の今後、地区公民館無しでやって行くのか、無くなればあそこにセンターを建てるなりが必要になってくる、地元でとか。それと小学校に入っていく時に、作業車とか大型車がジャンジャン入っていくけれども、それは道路改良とかが出て来ると思う。あと、児童生徒数は変わらないにしても、高齢者は確実に増えていくので、高齢者があの周辺でどうやって生きて行くかとか、それは色々な解決の仕方があると思うが、それをみんなで解決して行くことが一番重要ではないか。公民館が無くなった時に地域の人達で造れるのか、そこは造られると思うが、そこ迄まで話して行った方が良いのかなと思う。

E7 【教育長】石井委員が言われるとおり、鞍岡地区公民館のことまでは考えてなく、署名とかも集まった可能性もあるのかなと思う。本当に鞍岡地区公民館、あそこは公立の公民館としてうちの町で建てているものだと思うが、それを町が建て替えるとなると、なかなか難しい問題があると、そういう説明も十分に出来ていなかったのかもしれない。

Q2 【石井委員】鞍岡地区公民館の話は今回のヒアリングでは出ていないのか。

A2 【教育次長】出ていない。

E8 【町長】鞍岡支所を廃止する時も、前の町長に対して署名簿が出た。あの時も6割ぐらいの方が署名していたと思う。そういった中で、廃止の流れに行くと、あまり地域住民の感情にぶらされてもいけない訳で、その辺はしっかり、どんなことがあろうともどこかの時点では方向性というところで考えていかないといけないと考えている。

E9 【教育長】出来たら座談会でも協議会でも新たに、一方的な意見だけではなくて、様々な意見が出るようなものが出来ると我々も応え易い部分が出てくるのかなと思うし、意見も述べやすいかなと思う。何よりも鞍岡の方々がもう一度考えてくださることが大切かなと思う。

○3 【石井委員】自分の考えは、町長の意見に反するかもしれないが、鞍岡の人達の総意が小学校移転とかになっていて、感覚的な意見であってもそ

れで良いと思うが、その中で鞍岡をどうするとか、学校をどうするとか、教育をどうするとか、そういったことを語る場があって、その後にそういったところまで行ければ良いが、これまでは住民の出番が無かったと思うので、それがあった後で、形づくられれば良いなと思っている。もう一つは、署名活動は鞍岡の人達が鞍中問題が、こんな問題があるんだなと意識するには充分あったのではないかと思う。

○4 【興梠委員】最近、こういう資料をいただいて中身を見せてもらったが、跡地利用を考える会のメンバーはどういう形で選ばれているのか分からないし、また内容を見ても今の状態で色んな意見書とか挙がってきたのを見たときに、早々に結論を出せるようなことではないなと思った。桑野内にも鞍岡中学校の跡地をどうするかという話しの問いかけが以前あったが、その後全然ないから、どうなっているのかと思ったのが正直なところである。教育委員になってみて、こんなことになっていたんだということを初めて知った。そういうのもあって、色んな話しが出てきたときに、また桑野内でも、坂本でも、三ヶ所でも何か良い意見はないだろうかというのを出してもらうと良いのではないかと思った。

○5 【松本委員】私もみんなと一緒に、限られた方達だけの議論でずっと進んでいるので、もう少し色んな方達を含めてのご意見をいただかないと、鞍岡の人達が話し合っているものではないなと感じた。廃校跡地の利用も学校というだけではなくて、色んな活用の仕方があるんだよというのを、もうちょっと出して行くとイメージが分かり易いと感じた。

E10 【教育長】聞くところによると、移転推進ではない方々も話し合いを始めようとしているという情報が入って来ているので、その人たちも活かしながら、一緒に話し合いが出来ると良いのではないかと思っている。そうなってくると、なかなか教育委員会としてイニシアティブを取ることが出来ないようになってくる。

E11 【町長】さっきの振り返しになるが、鞍岡の9区から14区まで6つの行政区ごとに、座談会をテーマはこれに絞って、意見交換会ということで、跡地利用を考える会の皆さんは殆ど来てくれるだろうから、その中で今回、教育委員会が議論していただいたことを紹介しつつ、他に跡地利用の前段で意見がいくつか挙がっている部分を紹介しつつ、ご意見を賜った方が良いのかなという気がする。鞍岡の水道問題、中山間地域総合整備事業で、水問題は本当に難しいと感じたが、地域が分かれてしまった。そういう形になってはいけないので、この学校移転問題で地域が悪くなるのは

良くないので、その辺をしっかりと配慮しつつ、やって行かないといけないと思うが、なかなか難しい。

E12 【教育長】今回、うちが意見を聞いて、どういうことかというのでお伝えしたが、再度、鞍岡小学校を移転するかというような話しあいをしていない部分があって、それは何故かと言うと、以前、結論は鞍岡小学校の移転は望ましくないだろうという結論のもと、再度、移転というのは望ましくないということを確認したということが教育委員会としてはあると思うが、なかなかそこも教育委員会が意見を変えたというのは難しいことで、我々のスタンスは変わっていないというところである。

O6 【興梠委員】移転に反対とかではなくて、する必要がなかった。

E13 【町長】そういうところがある。今回、教育長と先生も一緒に入って小学校を見せてもらったが、やっぱり校舎自体が明るい。古くなっていると言っても、耐震の大規模改修をした訳だから施設はしっかりしているし、その中で草刈りが大変だというのは話し合いの中で解決できるので、鞍中跡地が小学生に適しているかというのは、中央部であって安全安心はあるかもしれないが、そこ辺がどうなのかと疑問を持っている人がいるかもしれない。いたら、現状で今の小学校の教育は何ら問題が無いというのは、体感もしたし、そこ辺を伝えていかなければいけないと思う。地域の思いと我々の思いは違うかもしれないが、多数決とか住民投票でやることでもないような気がする。では、跡地利用と言われてもどんなのがあるのかを聞かれても、地域が考えてくれないと我々が考えるよりも地域の考えを優先すべきだと思う。

E14 【教育長】跡地利用を考える会の方には、はっきり駄目とは言っていないが、難しいとは伝えてある。

E15 【教育長】座談会を開くというところは、教育委員会として持って行くのは難しい訳で、行政グループが中心となってやっていただきたい。

E16 【町長】それはどういう形が良いかという議論を、跡地利用というのが基本になれば我々でやらなければいけないが、学校についての話し合いになると、どうするかというのは協議しなければならない。最終的には事務局としてどうするかというのは、私がやりますという形しかいけないと思う。

E17 【総務課長】今の座談会は全体の話しで、意見交換会の中で町長と直

接話しをして、方向性を示して欲しいという意見が出ている。元々、移転の話は他のことも含めて全体で協議してきたけれども、結論を出して、署名が出て来て、もう一度教育委員会の方で確認をしたいというような町長の意向があって、教育委員会サイドで意見を聞きつつ、必要性がないという結論に至ったというところは、本日は、今までの流れで教育委員さん達の意見を聞いて、意見の中に必要性はないと感じたということが以前と変わっていないということではないか。報告書の中にあつたことは答えていかなければいけない部分がある。総合的に今後、中学校の跡地については当然、今の議論の仕方ではいけないから、新たな意見の集約とかをしなればいけないということが間違いなくあるのかなと思う。

E18 【町長】今、総務課長が言ったとおり、この前一回目もここに書いてあるけれども、最終的には町長を入れた話し合いがしたい。署名簿の重みはしっかり取らなければいけないということで、再度、教育委員会に議論をお願いするというので投げ掛けているつもりである。その中で方向性は、報告書を貰っただけで、こうすべきではないかというのは記載されていないので、それに対してコメントしないが、ただ、やはり一般質問でしっかり町長として答えたものを、あっち行ったり、こっち行ったりは出来ない話で、それに対する肉付けはするが、その中でやっぱり教育委員会からもう少し議論が足りないのではないかという意見が出れば、それをやらなければいけないという思いを考える会の人達に伝えるが、まずは4回目が終わって、こういった報告書も貰っている訳なので、考える会のメンバーの人達ともう一回話すと、その中からこうやりますという判断材料がないとすれば、再度、さっき言ったような流れで、地域の人達に確認をしたいという話しかなと思う。

O7 【石井委員】自分は意見が少し違うかもしれないが、教育環境としては今の学校で問題がない、動かす動かさないは別問題として地域の問題が出て来たりすると思うので、それ以外、教育委員会で言えるか分からないが、もし協議が足りないとか、もう少しみんなで話し合った方が良いのはないかという確認するのは、言えるかどうかは別問題だと思うが、地域づくりとかそういったところまで出せるのか、たぶん向こうは出せないと思うが、署名が挙がってきて、自分達でどう考えるかだから、考える会の方とヒアリングして、こんな状況でしたと上げただけだと思う。

E19 【総務課長】(前回の)総合教育会議では、教育委員会も町長が方向性を決めているのを白紙に戻すことは基本的にどうなのかという議論をしている。

○ 8 【石井委員】それは、申し訳ないけど、教育委員が替わっていくから、そこ辺は変わっていく可能性はある。今のシステムであれば出てくると覆う。もちろん、町長が答弁されて、それをしなければいけないというのは分かる。

E 2 0 【総務課長】教育委員会でも議論した結果、移転は無いというのが教育委員さん達の意見ではなかったのかなという気がする。そこがはっきりしないとなかなか、それを受けてまだ議論するのかという話しと、それは教育委員さんから結論得たのでというのをおいて話すのかというのがあるのではないか。

○ 9 【石井委員】どこまで（教育委員に）権限があるかというところだと思う。教育委員会では、移転する必要がないというところなのか、教育環境は素晴らしいからそのままやった方が良いのではないかというのは全然違うと思う。

E 2 1 【町長】現実的に、さっきの財政的な状況も話して、我々も現場を見て、何ら問題は無いと考えている施設を、保護者の意見はまだ聞いていないが、学校の先生達も何ら不満に思っていないと思う。これは教育長を通じて確認したが、一部講師の先生から意見が出ている部分はあるが、そういうところで敢えてそういう環境なのに、強引にやって子ども達に迷惑掛けるのが良いのかというのは非常に課題であると思う。やはり今の施設で、学校給食の施設の補修が必要な部分は直さないといけないが、敢えて移転までしてやる必要があるのかなというのは、この問題が起きてから思っている。これを言って、この方達と喧嘩する必要もないが、しっかり話し合いをして議論して行く必要があると思う。やっぱり、さっき石井委員から出た地域づくり、学校問題だけでなく、地域づくりをどうするかというところまで発展して行くというのが、みんなが今からのことを考えるという部分では一番良いことと思うので、一時、鞍岡の明日を考える会というのが、秋本良一さんが公民館長の頃起ち上げて、色々動かれていた。当然、スキー場の問題を抱えているわけで、そういったところで、その動きがどうなっているのか見えない部分があるが、本当に真剣に考えてもらうと良いのかなと思う。あまり学校に特化すると、ちょっと違う問題になる。

○ 1 0 【石井委員】自分自身は、道の上分校とか馬見原中学校が廃校になっているが、保護者や地域住民のイメージとしては自分たちが作った学校だとか、自分たちの学校だという考えがあるというのは間違いないことで、今までずっとそこに関わってきたので、その思いというのは潰してはいけない。それを地域を変えるということによって行かないと結論も出ない

し、中途半端な状態で、誰でもどちらが正解かは将来のことを考えれば分からないと思う。やはり多くの人の意見を聞いてやって行くということが、自分自身が一番良いのかなと思う。

E 2 2 【町長】さっき、総務課長が言ったように教育委員会が学校移転については現実厳しいと思うという考えが出れば、私はそれを受けて、再度、教育委員会に確認して、こういう方向で行きたいと思うというのを自分自身でどこかで出して、且つ議会に広報もいるが、どうだろうかという話しを議会に投げ掛けて、且つ全体での地域の議論も踏まえつつ、進めて行くということの、我々がどうなってくるかというところであるが、当面、4回の教育委員会の意見交換が終わった中で、それぞれに出された意見があるので、もう一回しっかり確認しながら、地域の行政区ごとの座談会で意見をしっかり聞いた中で、来年度に入って行くような方向性を再度、確認させてもらって、この総合教育会議でも再度、確認させてもらって方向性を出して、理解を得て、来年度になるが方向性を決めると。どこかで次の有り方の議論も、跡地利用についてもみんな話し合う場を作って行かなければいけないので、どういう組織が良いのかというのも一緒に申し訳ないが一緒に協議させていただいて、スタートさせるということかなと思っている。

E 2 3 【教育長】今回、うちが意見を出せないという訳ではなかったが、ただ、こちらはどうしても跡地利用を移転するという人たちの意見だけであって、もう一つ別の意見もあるはずだということがあったので、判断としては、今回はしていないところがある。今までの流れから言えば、移転する理由はないというのは以前から変わりはない。何度も話し合いをして行かないと、対決するつもりはうちもない。ただ、議論はして行く。

E 2 4 【町長】この場で結論を出すということではないので、思いがあれば聞かせていただきたい。今後、どのように進めて行くかは、教育長、教育次長を含めて協議して、また総務課長、企画課長、跡地利用のこともあるので内部で詰めさせていただいて、こういうやり方が良いのかなというのを整理させてもらう。これをずっと置いておくつもりはないので、跡地利用を考える会の人達との話し合いは私自身はもう一回、これを受けてやらなければいけないと思っている。まだ方向性は出すべきではないと思っている。

Q 3 【総務課長】公民館長さんは、何か意見を言われることがあるのか。

A 3 【石井委員】その話し合いはしていない。

E25 【総務課長】議会が近づいているので、議会に向かっては、質問が出るか分からないが、答弁を求められるかもしれない。公民館長さんあたりにも、情報提供しながらも意見交換する場、住民の立場でも、多方面からの意見を聞く機会があっても良いのではないか。

E26 【町長】あまり畏まって会議をするのではなくて、公民館長さん主催で、組長会でもいいし、区の総会で若しくは地域でもいいけど、どう思うかという議論を集約してというフランクな話し合いも必要かなという気がする。これは鞍岡だけの問題ではなくて、町内全域として考えなければいけない。

E27 【総務課長】教育委員会の方に、町長との意見交換はどうなっているのか聞かれるかもしれない。話し合いをやった方が良いのか、やらないならやらないための理由をつけておかないといけない。公民館長さんとかは色んなことが、みんなやって来ているだろうなと思うのをさせてもらうというのを、我々と似たような立場でどうかしなければいけないけれど、どうしたら良いのかという思いがあると思う。地域組織の有り方を検討しているので、将来的には色んなことが当然課題であると思うので、色んな意見交換をするというは有りかなと思う。公民館長会の後にでもちょっと時間をいただいて意見交換できればと思う。

E28 【町長】それくらいで今日の議論は、こうしますというのではないが、大体意見は聞かせていただいたので、整理をしつつ、教育委員会と役場の管理職含めて意見をいただこうと思っている。

## 2 その他

【寺本委員】 総務課の方も来られているので、人権擁護委員をしている関係で、毎年夏休みに町民センターで、夜6時半頃から人権啓発の映画を上映している。参加者が毎年10名に満たない。今年も総務課の職員の子どもさんを連れて来たりで、勿体ないので、ある方と話していたら、時間を昼にして、例えば平日であればわくわく児童クラブに来ている子ども達を何とかバスとかで連れて来て見せる時間を作っても良いという話しも出ていたので、それが可能であれば、人権感覚を養うために良いのかなと思っている。上映時間は2時間くらいである。基本はアニメで、小学生が見るようなものである。

【総務課長】 夏休みは、1ヶ所に集まって、川遊びとかをやっている。

【町長】 良いことであると思うので、夏休みに計画してはどうか。具体的な時期や有り方について総務課、教育委員会で協議していただきたい。

閉会時刻 午後5時11分

(署名) 町

長

原 田 俊 平

教 育 長

猪 野 貴 一

教 育 長  
職 務 代 理 者

石 井 勇

教 育 委 員

寺 本 俊 文

教 育 委 員

興 福 浩 幸

教 育 委 員

松 本 貴 子

会 議 録 調 整 者

武 内 秀 元